

令和5年度 事業報告書

救護施設 菰野千草園





実施報告

今年度事業計画に基づき、以降のように実施した。

新型コロナウイルスの流行期には、施設利用者様の安全を最優先として情勢を勘案の上、感染防止策として事業内容を一部中止あるいは変更して実施した。

A	施設内の年中行事を通じ、施設利用者様の日常生活における余暇の充実を行った。
B	業務の専門性を向上するため、施設内の研修へ参加した。また、一部web研修を取り入れた。
C	各種災害を想定して、定期的に防災訓練を実施した。
D	利用者の希望に沿った個別支援計画を本人とともに立案し、目標と支援方法を設定することにより、一人ひとりの自己実現を目指した。
E	地域生活への移行を目指した社会適応訓練を行い、それぞれの課題に応じた学習訓練プログラムを作成し実施した。
F	施設内では複数の作業を提供し、利用者が喜びとやりがいを感じてもらえるような支援を行い、個々の意欲や能力の向上を目指した。
G	地域貢献の推進を目的として「菰野町社会福祉法人連絡協議会」に参画し、相談窓口を設置。
H	新型コロナウイルス感染症に関して、様々な対策を講じて感染拡大防止に努めた。

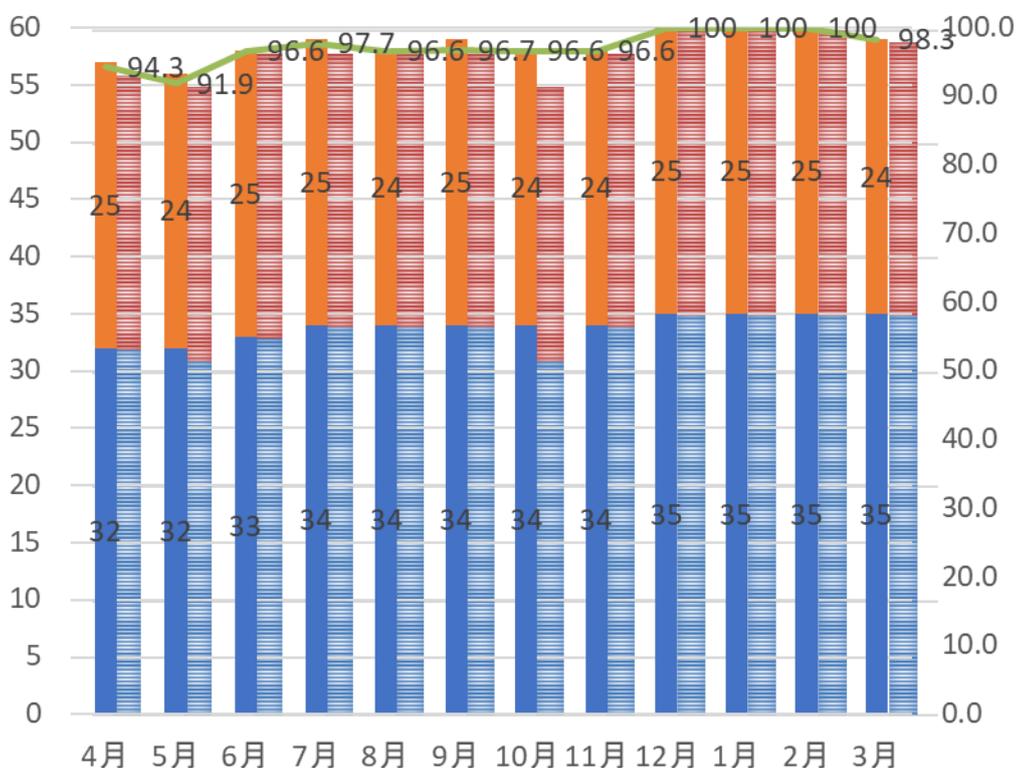
入所状況

1 保護実績

1.入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月初人員	男	32	32	33	34	34	34	34	34	35	35	35	35
	女	25	24	25	25	24	25	24	24	25	25	25	24
	計	57	56	58	59	58	59	58	58	60	60	60	59
入所人員	男	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	計	0	0	3	1	0	1	0	0	2	0	0	0
退所人員	男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	計	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1

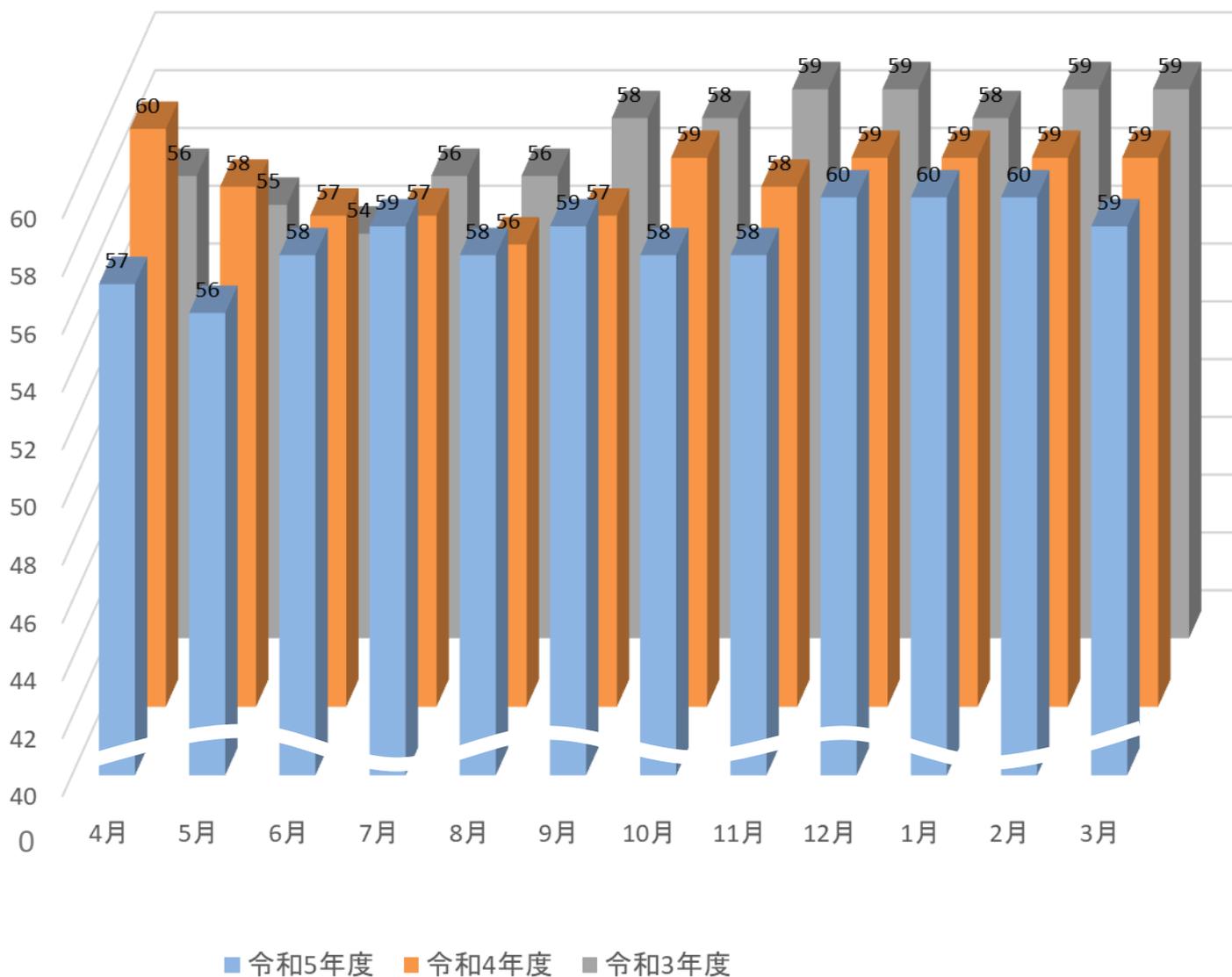
月別入退所推移



入所状況

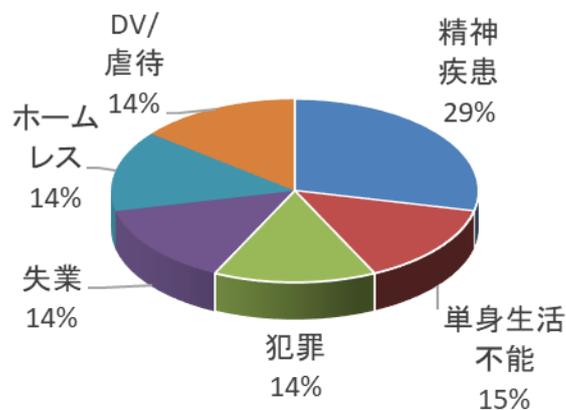
1 保護実績

年度別入所状況(月初)



2.入所原因別状況

入所理由	精神疾患	一般疾病	単身生活不能	犯罪	失業	住居焼失	ホームレス	DV・虐待	計
						住居取壊			
男	2	0	1	1	0	0	0	0	6
女	0	0	0	0	1	0	1	1	2
計	2	0	1	1	1	0	1	1	8

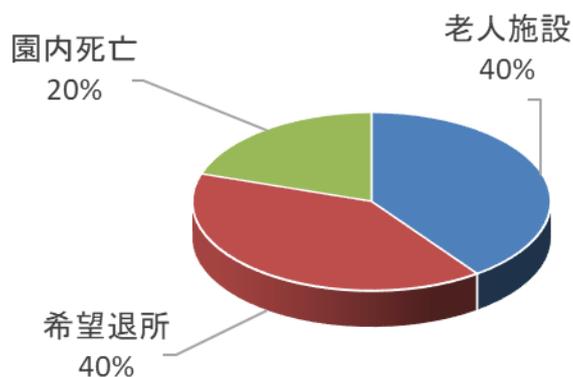


月日	氏名	性別	年齢	委託福祉事務所
6月1日	K・M	男性	83	四日市市福祉事務所
6月1日	Y・K	男性	69	四日市市福祉事務所
6月1日	H・T	女性	47	四日市市福祉事務所
7月1日	K・T	男性	65	鈴鹿市福祉事務所
9月1日	M・A	女性	47	四日市市福祉事務所
12月1日	M・S	男性	20	北勢福祉事務所
12月1日	S・M	女性	47	四日市市福祉事務所

※プライバシー保護の為、氏名はイニシャルとさせていただきます。

3. 退所原因別状況

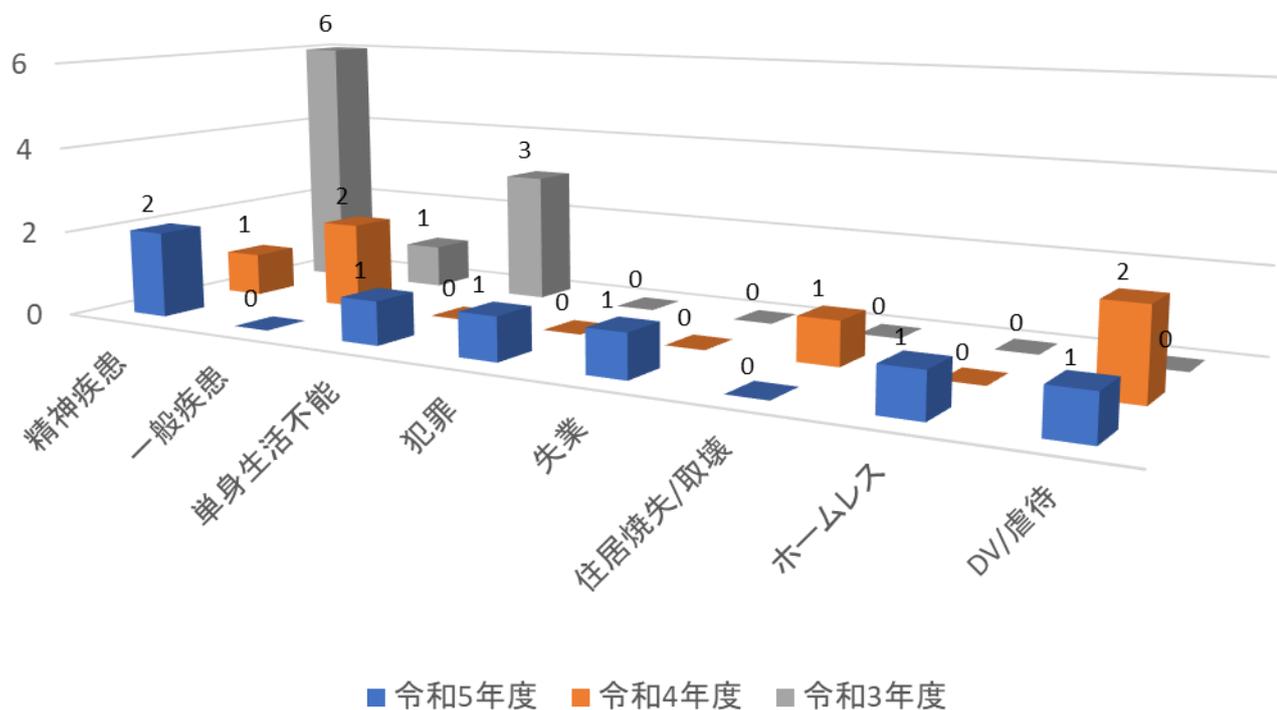
理由	精神科入院	措置変更		社会復帰	希望退所	無断退所	死亡		帰郷帰宅	その他	計
		一般病院入院	老人				園内	在籍入院			
男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
女	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4
計	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	5



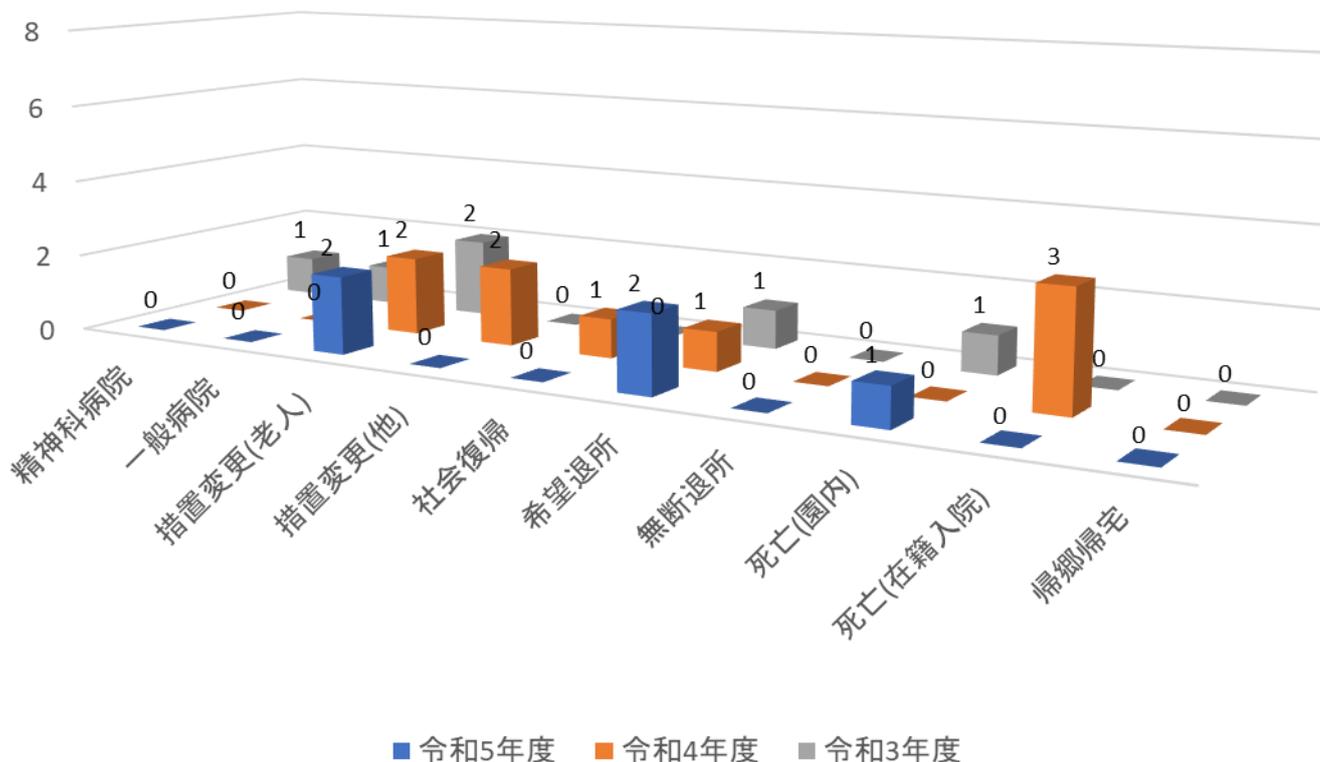
退所者内訳

月日	氏名	性別	年齢	委託福祉事務所	退所理由
4月18日	K・T	女性	85	津市福祉事務所	住宅型有料老人ホームへ措置変更
5月5日	K・K	男性	66	津市福祉事務所	施設内で死亡
7月20日	S・T	女性	88	桑名市福祉事務所	住宅型有料老人ホームへ措置変更
9月1日	M・A	女性	47	四日市市福祉事務所	希望退所
2月8日	S・M	女性	26	四日市市福祉事務所	希望退所

入所原因別状況推移

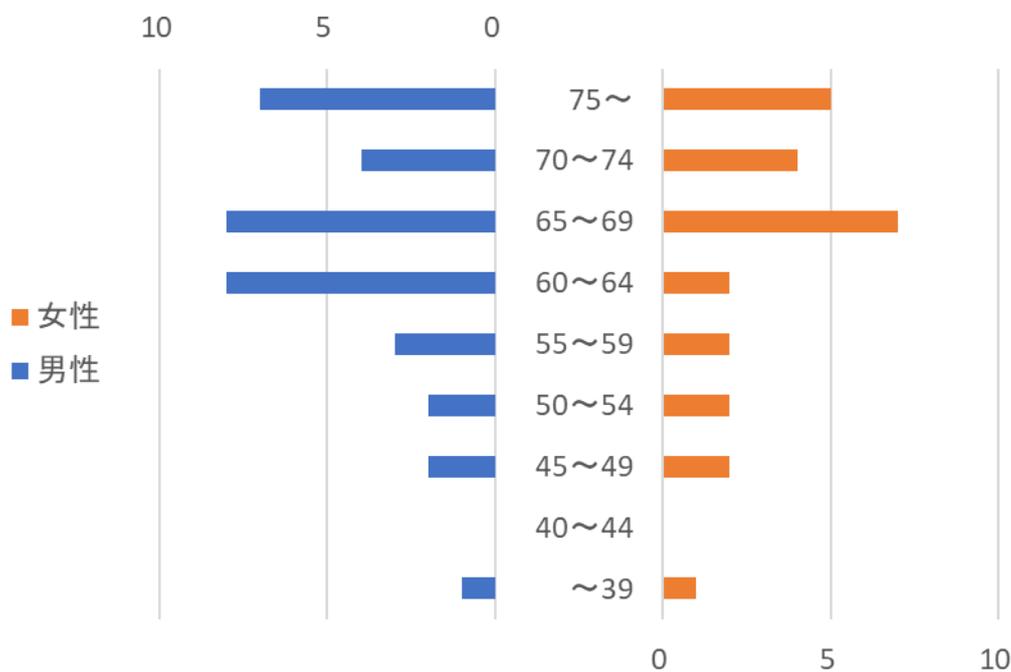


退所原因別状況推移



4. 年齢別性別状況

年齢別構成図

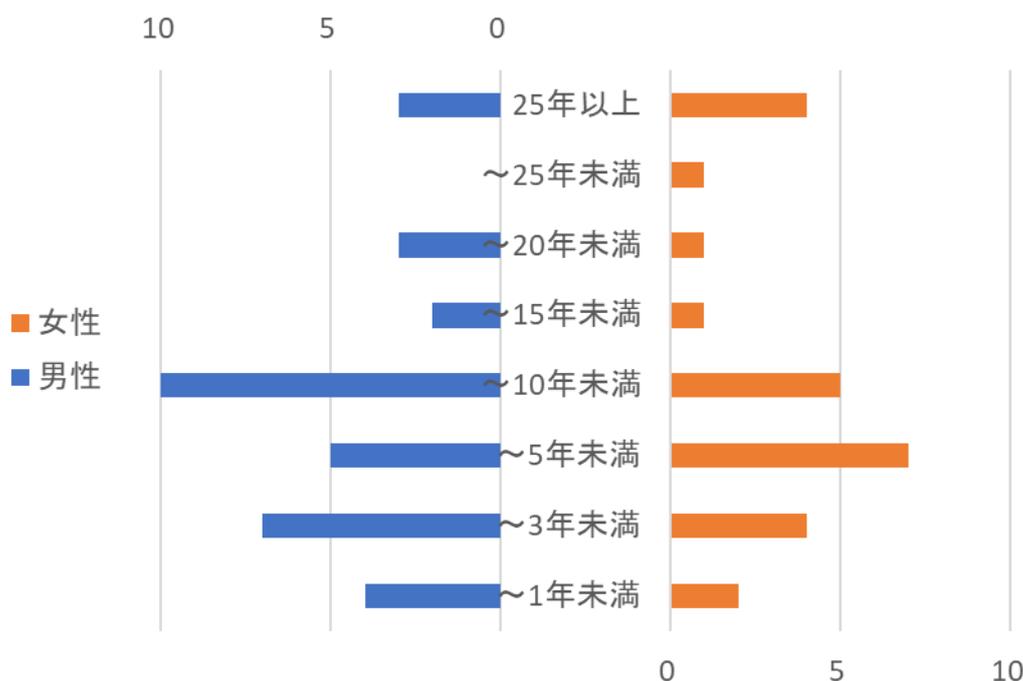


	男	女	全体平均
平均年齢	64歳	66歳	65.4歳

最高	最低
93歳	20歳

5. 在所機関入所者状況

在園年数別構成図

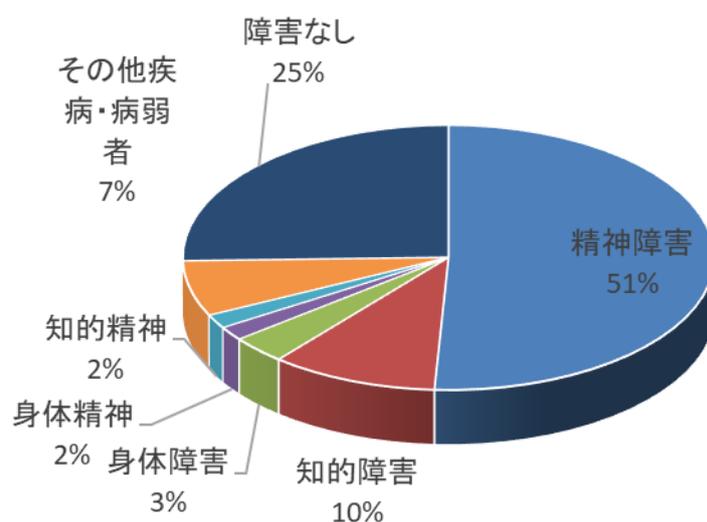


	男	女	全体
平均年数	8年6ヶ月	8年11ヶ月	8年8ヶ月

最高男性	最高女性
40年11ヶ月	38年7ヶ月

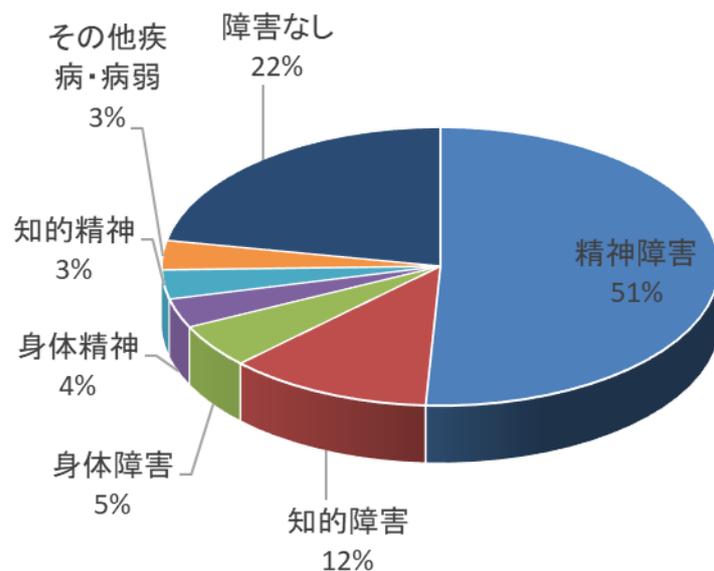
6. 障害別状況（手帳取得者）

	身体障害	知的障害	精神障害	身体+知的	身体+精神	知的+精神	身体+知的+精神	その他疾病・病弱者	障害なし
男性	2	5	17	0	1	1	0	4	6
女性	0	1	13	0	0	0	0	1	9
計	2	6	30	0	1	1	0	4	15



7. 障害別状況（手帳の有無を問わない）

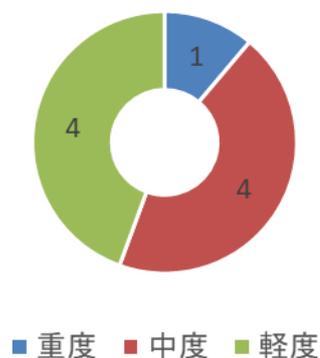
	身体障害	知的障害	精神障害	身体+知的	身体+精神	知的+精神	身体+知的+精神	その他疾病・病弱者	障害なし
男性	2	5	19	0	1	2	0	1	5
女性	0	2	11	0	2	0	0	1	8
計	2	7	30	0	3	2	0	2	13



8. 知的障害別状況

	最 重 度	重 度	中 度	軽 度	不 明
男性	0	1	3	3	0
女性	0	0	1	1	0
計	0	1	4	4	0

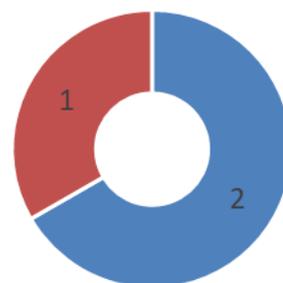
8人中(人)



9. 身体障害者手帳取得状況

	肢体不自由			視力障害			聴力障害			左記以外の障害		
	1級	2級	その他	1級	2級	その他	1級	2級	その他	1級	2級	その他
男性	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

3人中(人)



■ 肢体不自由 ■ その他の障害

10. 療育手帳取得状況

	療育手帳A	療育手帳B
男性	2	3
女性	0	1
計	2	4

6人中(人)

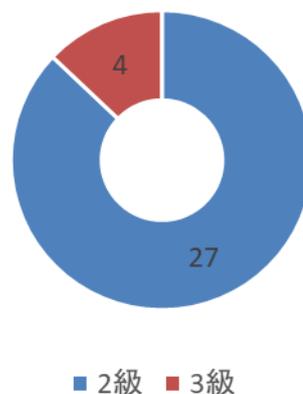


■ 療育A ■ 療育B

11. 精神障害者保健福祉手帳取得状況

30人中(人)

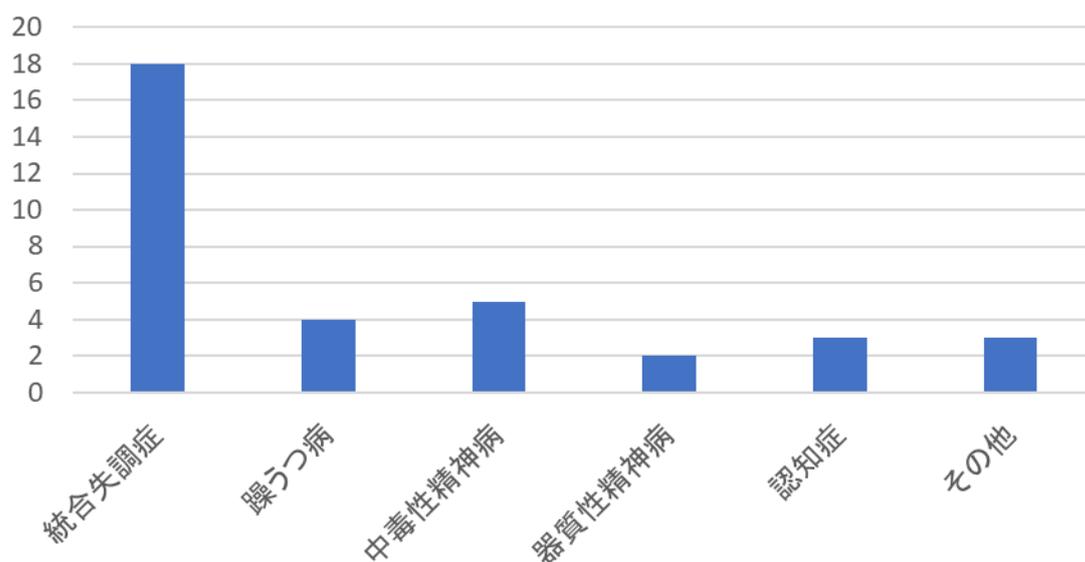
	1級	2級	3級
男性	0	17	1
女性	0	10	3
計	0	27	4



12. 精神障害別状況

	統合失調症	躁うつ病	てんかん	中毒性精神病	器質型精神病	認知症	左記以外精神疾患
男性	10	4	0	4	1	2	1
女性	8	0	0	1	1	1	2
計	18	4	0	5	2	3	3

35人中(人)

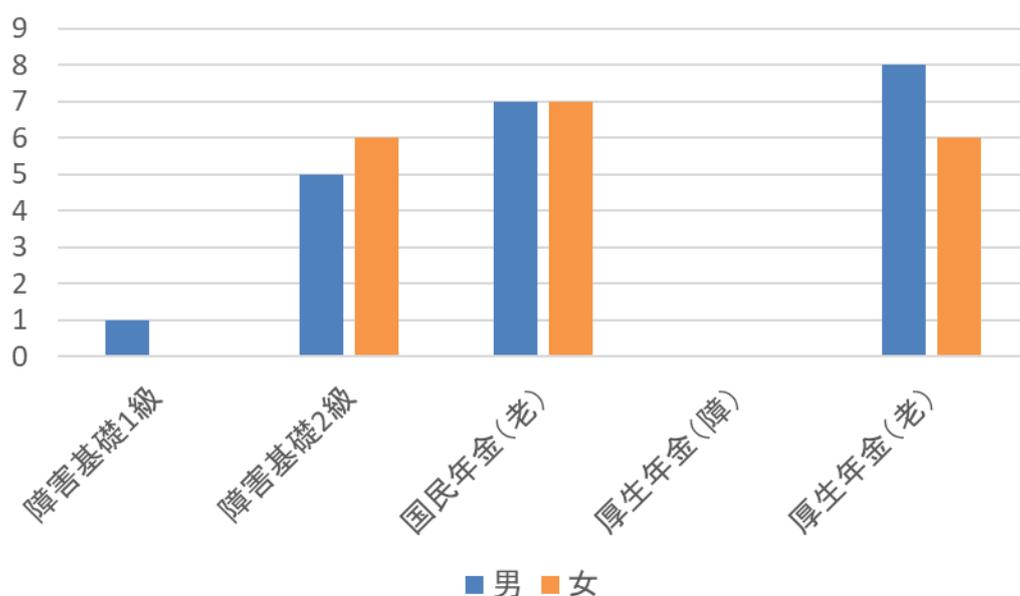




13.各種年金受給状況

	障がい	障がい	国民	厚生	厚生	厚生	心身障が	他	合計
	基礎	基礎	年金	年金	年金	い者扶養			
	1級	2級	(老齢)	(障がい)	(老齢)	(遺族)	共済年金		
男性	1	4	6	0	8	0	0	0	19
女性	0	5	7	0	5	0	0	0	17
計	1	9	13	0	13	0	0	0	36

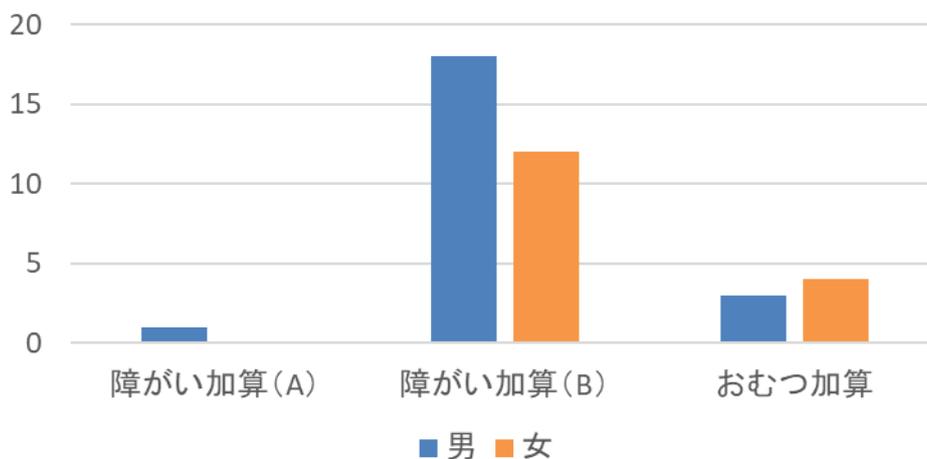
各種年金受給状況



14.加算金受給状況

	障がい加算(A)	障がい加算(B)	おむつ代加算	合計
男性	1	17	3	21
女性	0	10	4	14
計	1	27	7	36

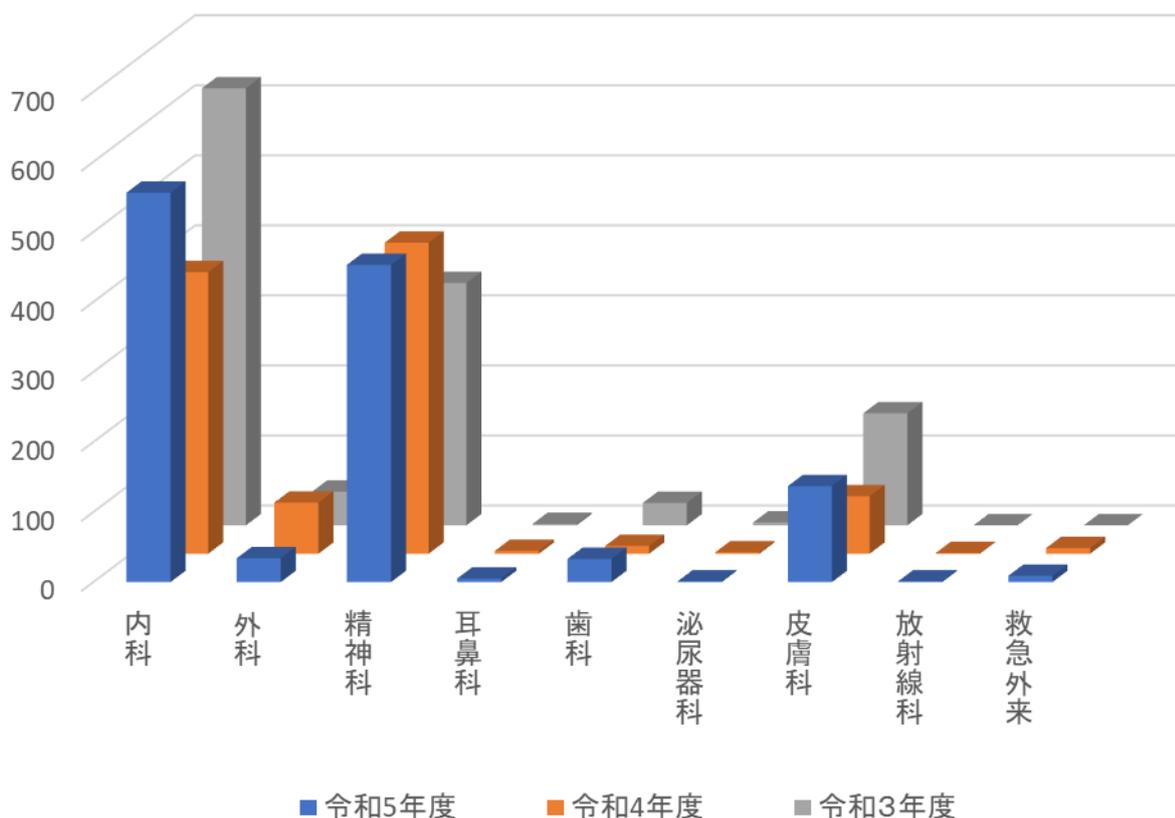
加算金受給状況



15. 在園者疾患状況(年間医療扶助適用分)

	内科						外科					精神科	耳鼻科	歯科	泌尿器科	皮膚科			放射線科	救急外来
	内科通院	内科来診	内科投薬	脳神経内科	消化器内科	呼吸器内科	外科	整形外科	脳神経外科	乳腺外科	口腔外科					皮膚科	皮膚科往診	皮膚科投薬		
実人数	8	119	393	5	3	13	2	8	12	8	1	398	5	18	1	2	46	85	1	9
日数	9	125	399	6	5	13	2	8	14	8	2	453	5	33	1	2	48	87	1	9

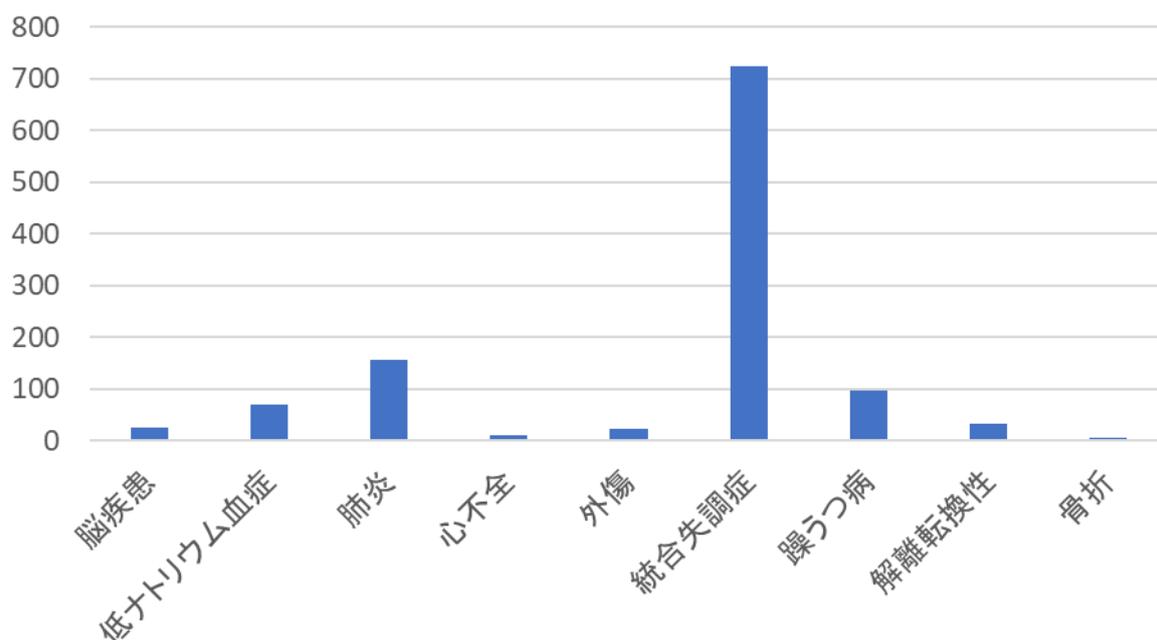
過去3年間の推移



16. 年間入院状況（病院別日数）

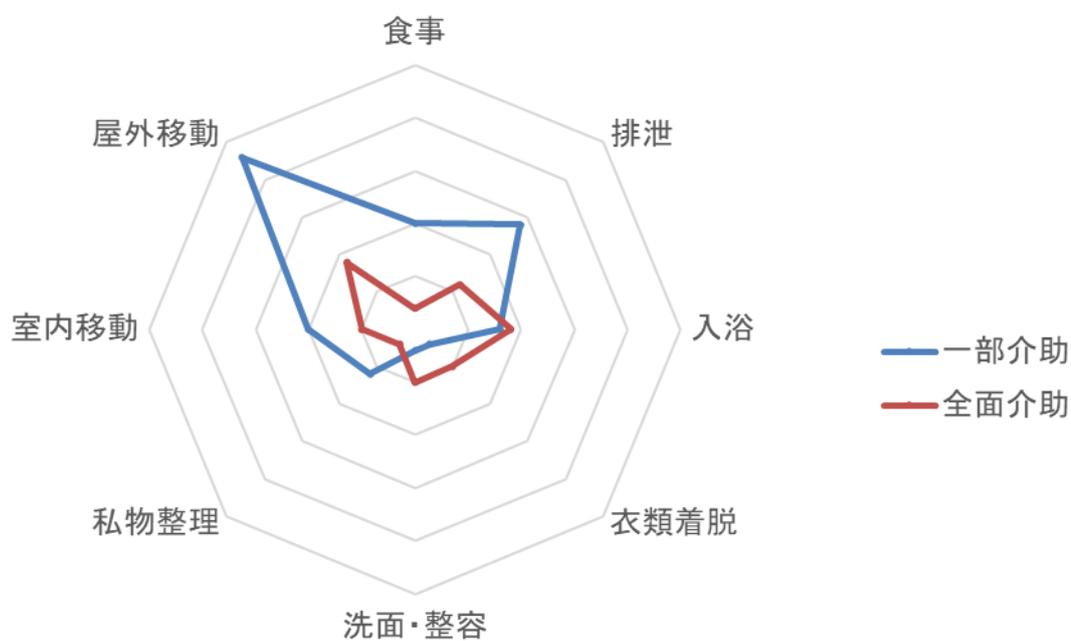
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菰野厚生病院												6	6
水沢病院	39	14	59	81	61	20	40	60	88	124	109	77	772
いなべ総合病院				17						15	29	31	92
総合診療センター ひなが	6		2	31	31	28		16	13			9	136
東員病院		21	1					7					22
市立四日市病院												16	16
みえ県立医療 センター					7				12	20	29	31	99

年間入院状況（病名別日数）



17. ADL 介助 状況

		食事	排泄	入浴	衣類着脱	洗面整容	私物整理	室内移動	屋外移動
一部介助	男性	4	6	4	0	0	4	5	13
	女性	6	8	4	2	2	2	5	10
	計	10	14	8	2	2	6	10	23
全面介助	男性	2	5	7	5	5	5	4	8
	女性	0	1	2	0	0	1	1	1
	計	2	6	9	5	5	2	5	9



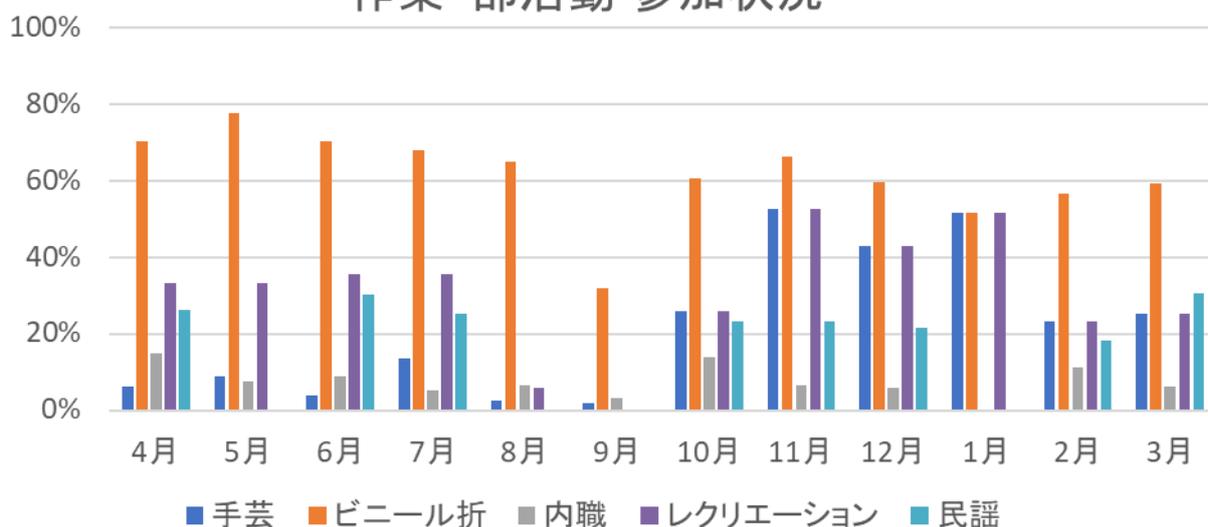
18. 作業訓練状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
手芸	延日数	7	1	18	3	11	7	21	22	15	12	23	24	164	13.6
	延人員	25	5	35	24	17	8	42	37	19	12	29	24	277	23.0
ビニール折	延日数	12	14	11	10	11	15	23	21	17	4	15	14	167	13.9
	延人員	482	608	449	402	415	202	811	810	608	124	509	489	5989	499.0
内職	延日数	9	17	18	6	7	3	12	16	8	0	12	14	122	10.1
	延人員	77	92	92	19	27	8	97	62	28	0	82	51	635	52.9

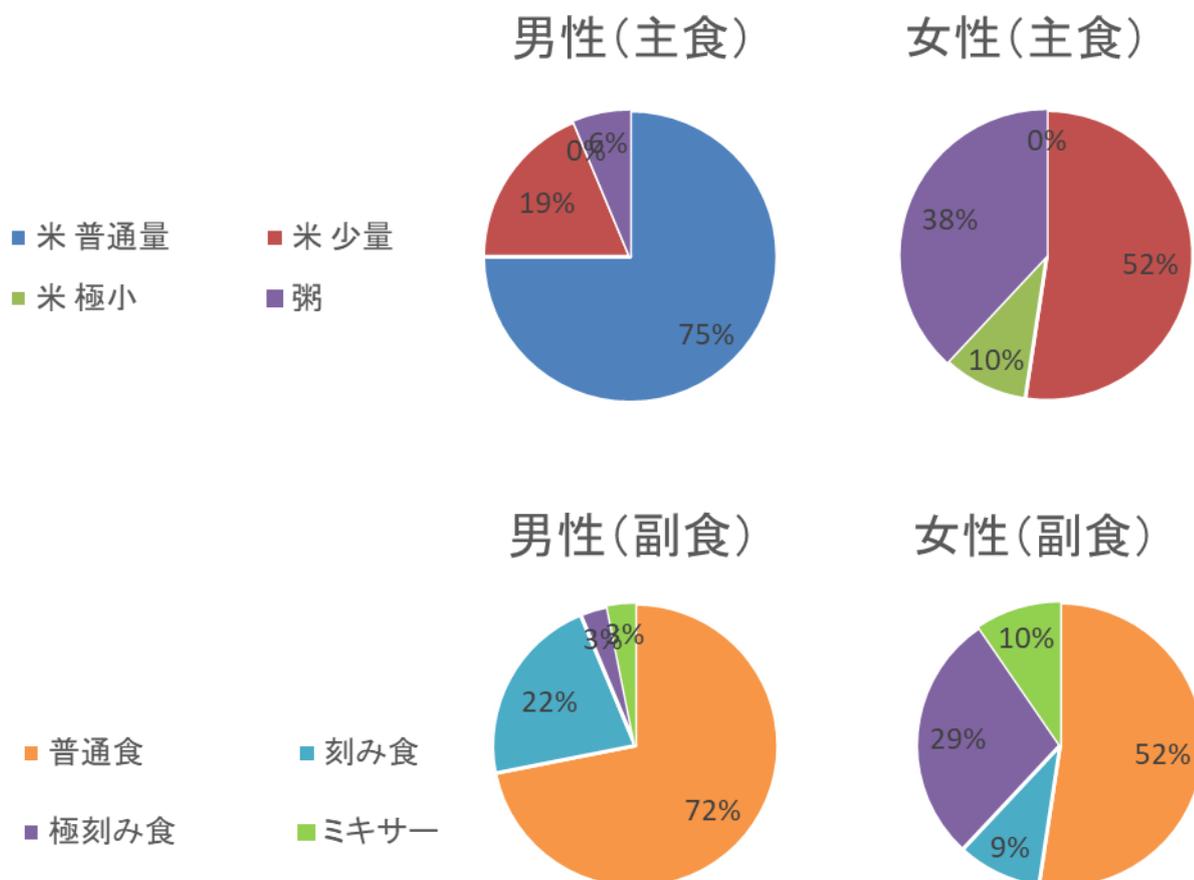
19. 部活動参加状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
レクリエーション	延日数	1	8	6	2	1	0	2	2	5	1	2	1	31	2.5
	延人員	19	158	121	37	14	0	30	61	129	31	28	15	643	53.5
民謡	延日数	3	1	2	2	2	0	2	2	1	0	1	1	17	1.4
	延人員	68	22	24	18	36	0	27	27	13	0	11	18	264	22

作業・部活動参加状況



20.給食実施状況

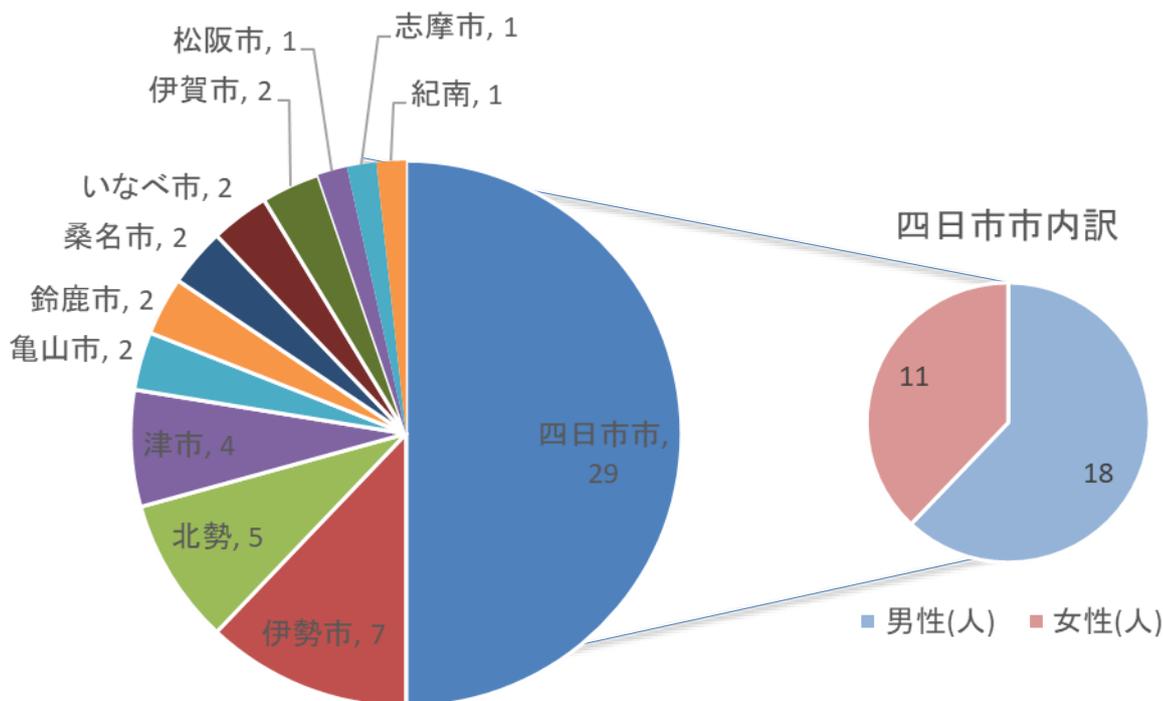


季節の特別食

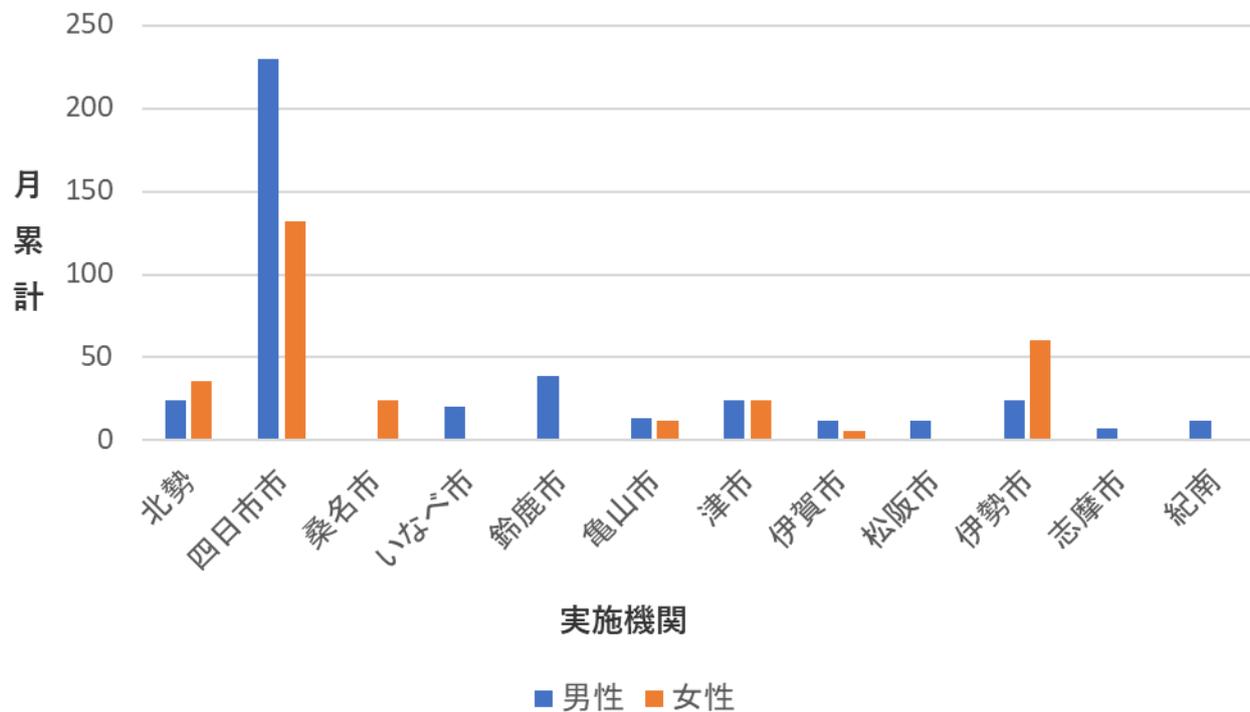
選択メニュー	7月25日
ガーデンパーティー	4月27日・10月24日
四季の料理	毎月4～5品
郷土料理	6月5日・9月18日・12月6日・2月20日
ご当地B級グルメ	4月5日
夏祭り	8月22日 かき氷・広島焼き・ベビーカステラ・餃子を提供
嗜好調査	2月18日

21. 保護実施機関別状況

保護実施機関取扱人数



保護実施機関取扱月数



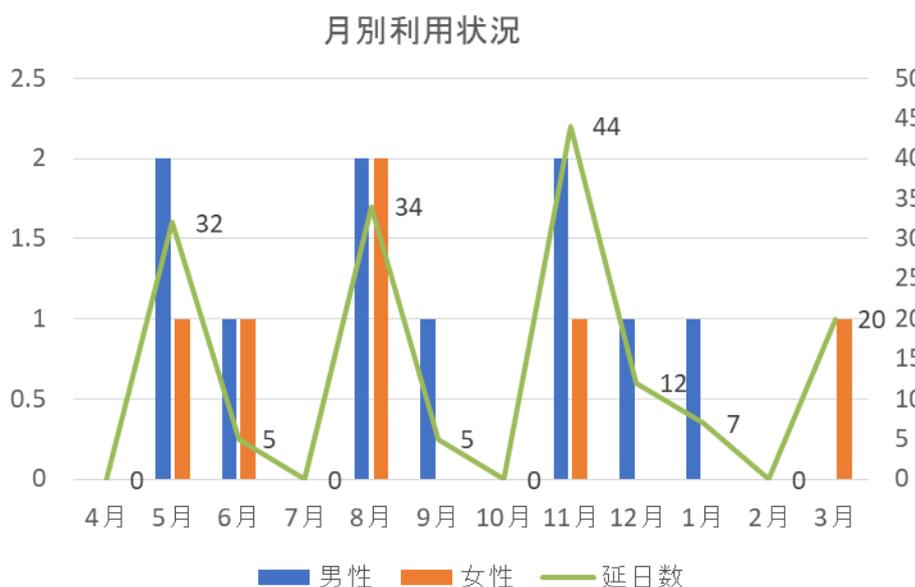
22. 施設見学

* 今年度の施設見学は、新型コロナウイルスの影響により、実施いたしませんでした。

23. ボランティア

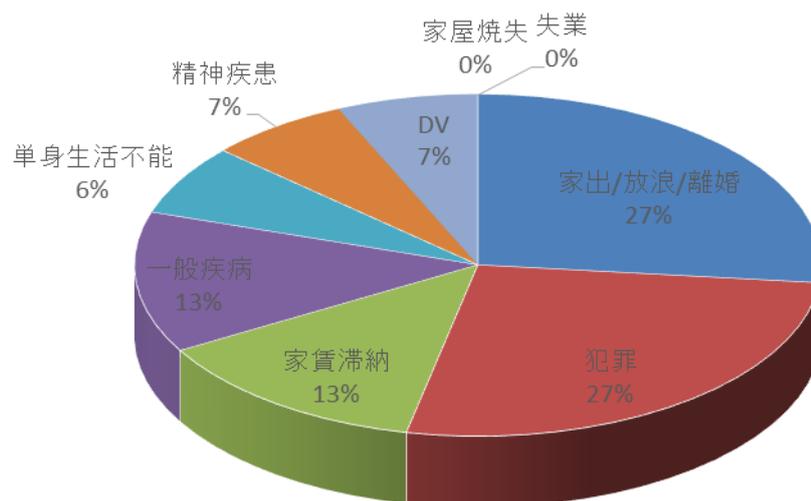
* 今年度のボランティアは、新型コロナウイルスの影響により、実施いたしませんでした。

24. 一時入所 利用状況



		合計	平均
人員	男性	10	0.83
	女性	5	0.41
	合計	15	1.25
延日数	男性	94	7.83
	女性	65	5.41
	合計	159	13.25

一時入所原因別状況





25. アキアカネ利用実績 * 今年度の地域交流スペースは、新型コロナウイルスの感染防止対策の為、外部者の利用を中止いたしました。

2. 定例事業及び日中活動は、計画書に基づき以下の通り行われた。

- A. 誕生日会 * 今年度の誕生日会は、新型コロナウイルスの影響により、感染対策を行った上で、形式を変えて実施いたしました。

○ 毎月1回(4・5・6・8・9・10・11・12・3月は、行事と兼ねて行なった。)			
4月 27日	男性 3名	女性 2名	計5名
5月 18日	男性 2名	女性 4名	計6名
6月 20日	男性 1名	女性 1名	計2名
7月 25日	男性 2名	女性 1名	計3名
8月 22日	男性 3名	女性 2名	計5名
9月 14日	男性 3名	女性 3名	計6名
10月 24日	男性 2名	女性 0名	計2名
11月 21日	男性 1名	女性 1名	計2名
12月 19日	男性 1名	女性 1名	計2名
1月 25日	男性 5名	女性 2名	計7名
2月 20日	男性 3名	女性 2名	計5名
3月 26日	男性 6名	女性 5名	計11名

B. 健康管理

a. 健康診断	利用者健診：ふじい内科クリニック 全利用者を対象に4月3日・17日/5月8日・29日/10月10日 10月23日/11月20日/12月4日に分けて実施
	職員及びパート職員健診：桑名産業衛生協会 生活習慣病予防健診を男性9名女性10名に実施(5/1) 一般健診を男性5名女性5名に実施(5/1) 特定業務健診を男性7名女性14名に実施(11/1)
b. 医師による来診・往診	・内科医来診：毎月2回 ・皮膚科往診：毎月1回
c. 検便	O-157、赤痢、サルモネラ、チフス菌、パラチフス菌
	4月：実施。職員19名、異常なし 5月～10月：月2回実施。職員107名、異常なし 11月～3月：月1回実施。職員38名、異常なし
d. 衛生点検と消毒剤散布	コロナウイルス感染防止対策として、非接触型体温計を設置し、 随時体温測定と手指消毒、及び体調確認をおこなった。また、定 期的な換気及び、施設内をアルコール消毒した。 ・レジオネラ菌水質検査：3/11(年1回)
e. 血圧測定	来診時と検診時に主治医及び看護師の指示で実施
f. 体重測定	全利用者を対象に月1回実施
g. 大掃除	5/1～5/6 12/26～12/31
h. 内服薬処方と外用薬処置	内服薬服用者：月平均 50名 外用薬処置者：月平均 15名

C. 防火と避難訓練

a. 避難訓練	5/31	9:45～10:20	68名参加	避難訓練を実施。
	7/29	9:45～10:20	68名参加	避難訓練を実施。
	9/29	18:30～19:20	68名参加	職員連絡網にて通報訓練を行う。
b. 防災訓練	11/28	9:45～10:20	70名参加	消火訓練を行う。
	1/31	9:45～10:20	67名参加	各班に分かれ模擬訓練を行う。
	2/27	10:00～11:20	68名参加	菰野町消防本部との合同消防訓練を行う。
	3/31	13:45～14:20	68名参加	各班に分かれ模擬訓練を行う。
自衛防災活動隊主体により、火災の発生を想定して実施。				
訓練内容：避難誘導訓練・模擬初期消火訓練・救助訓練・消火訓練を実施。				
c. 防災計画の整備と届出			平成21年12月1日	
d. 防火対象物の自主点検			毎月1回 防火管理者が実施	
e. 保存食・救急衣料			隔月1回	
救急薬品の整備と点検			救急薬品は、看護師。 救急衣料は、介護員長。 保存食は、調理長。	
f. 消防用設備等の整備と点検			委託業者が実施。	
			点検実施日 9/28	
g. 救命講習会			11/19(2名) 3/16(2名)。	

D. 入所者支援

a. 日常生活の充実	身辺整理、衛生、自活基礎訓練、入浴など業務内容に基づき実施。
b. 日中活動の充実	第1作業、第2作業をカリキュラムに基づき実施。
c. 部活動	レクリエーション部、民踊部をカリキュラムに基づき実施。
d. 園外作業	施設近隣の除草奉仕作業をカリキュラムに基づき実施。
e. リハビリへの参加	軽運動スペースを解放。(9:00～16:30)
f. 地域社会の参加交流	園内行事又は、町主催の行事に参加して交流を図っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の為、各行事中止となり交流は行わず。
g. 園長と語ろう会	感染症対策で多数での集会を避ける為、ZOOMを利用して開催する。 (4/14・5/19・6/7・7/7・8/25・9/1・10/25・11/8・12/13・2/9)
h. 施設外勤務作業	感染状況が落ち着くまで施設外への勤務は推奨しない。
i. 頭の体操(認知症予防)	アキアカネにてレク部合同で不定期に実施。 4/6・15 5/20 3/3。 ※健康体操やパズル・計算ゲーム等を行った。

E. 会 議

* 新型コロナウイルスの感染対策を行った上で、形式を変えて実施いたしました。

a.全体連絡会	毎月1回 全職員
	内容: 月間予定の報告、各セクションからの連絡
b.職種別会議	毎月1回 施設長、出納員、介護員長、主任指導員、各部活動統括、安全運転管理者、栄養士、第1・第2作業部長、看護師、
	内容: 各セクションからの連絡及び問題事項検討

c. ケース検討会議	毎月2回 施設長、介護員長、主任指導員、フロア職員、介助員、栄養士、看護師 内容：利用者の生活目標及び支援計画を検討
d. 給食会議	毎月1回 栄養士、主任指導員、利用者代表、必要に応じ施設長 内容：食事に関する計画及び問題事項の検討
e. 事故等検討会議	随時 施設長、出納員、介護長、主任指導員、主任介護員、栄養士、看護師 内容：事故報告を基に危険行為・問題事項の検討
f. 施設内研修会	毎月 全職員 内容：利用者支援や人権擁護、職員のスキルアップやハラスメントについて
g. 打ち合せ会	毎朝 当日出勤の各セクション職員代表 内容：利用者の状況報告及び当日のスケジュール、問題事項などの検討

3. 年中行事 * 新型コロナウイルスの感染対策を行った上で、形式を変えて実施いたしました。

4月27日	ガーデンパーティ	フラワー広場にてバーベキューを楽しむ。
5月18日	ゲートボール大会	フラワー広場にて開催する。
6月20日	卓球大会	アキアカネで個人戦を開催する。
7月6日	七夕祭り	記念撮影会とアイスクリーム屋さんを開催。
8月22日	ミニ夏祭り	アキアカネで模擬店祭りを開催。
9月14日	敬老会	コロナウイルスの影響により規模縮小で開催。
10月24日	ガーデンパーティ	フラワー広場にてバーベキューを楽しむ。
11月21日	ボウリング大会	アキアカネにて感染対策をとって開催する。
12月14日	忘年会	アキアカネにてフロア対抗歌合戦を開催。
12月19日	クリスマス会	アキアカネにて職員のダンス披露とビンゴ大会を開催。
2月1日	節分	職員が鬼に扮して各フロアを巡回し甘納豆を配布。
3月3日	ひな祭り	記念撮影と折り紙で雛人形作りを楽しむ。

4. 施設整備

A. 施設整備	
	・ 居室内間仕切り防火カーテン設置(4月)
	・ エントランスポーチ舗装工事(5月)
	・ 会議室及び静養室エアコン取付(6月)
	・ 経年劣化によるエレベーター修理(11月)
	・ 受水槽水漏れ修理(2月)
B. 消防設備機器	
	・ 誘導灯&自家発電バッテリー修理(12月)
	・ 火災通報装置改修工事(12月)

5. その他

1)	月間計画・支援目標の設定と記録については、職種別会議、ケース検討会議において検討。
2)	障がい状況の把握、ケース記録の充実、個別対応については、打合せ会、ケース検討会議において検討。
3)	研修会及び会議への参加は、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催。
4)	機関紙「陽心の友」毎月1回月平均15部発行している。
5)	入所者の受け入れとその対応について、検討を行なうと共に、60名定員における対応と運営についても検討している。
6)	菰野町「ふるさと館」への手芸作品の出品をしている。

施設内研修

月	日	内 容	主催	参加人数
6	1	階層別研修 指導的職員研修 テーマ『中堅職員の育成について』 目的: 中堅職員を育てる方法を学ぶ。 内容: 実践として中堅職員に虐待防止教育を行い、その成果を中堅職員主催の虐待防止研修として実施させる。	主任指導員	3名
6	1	階層別研修 指導的職員・中堅職員合同研修 テーマ『虐待防止研修の開催について』 目的: 中堅職員への虐待防止教育と研修を開催する方法を学ぶ 内容: 「虐待防止研修」の開催を通して実践的に学ぶ。 中堅職員は、指導的職員から教育を受け「虐待防止研修」を開催する。単に虐待防止の知識定着に留まらず、研修開催のための準備や、良い研修とは何なのかを考える。一方で、指導的職員は、中堅職員からの相談の受け方やアドバイスのタイミングを考える。	指導的職員	6名
7	25	医療安全管理研修 テーマ『発熱時の対応及び物品管理』 内容: コロナ禍で利用者様の発熱を確認したらしたときの初動動作を学ぶ 内容: ①居室環境の整備、セッティング②発熱者の、状態確認③報告④物品管理など知識について全職員に徹底。その後、マニュアル化する。	看護師	22名
8	24	人権擁護・虐待防止研修①『虐待の基礎について～具体例を挙げて～』 パワーポイントでの講義。(聴講者・施設長他、支援に関わる全職員)	中堅職員	14名
8	24	人権擁護・虐待防止研修②『虐待防止チェックリストの実施』 全社協版「障害者虐待防止の手引きチェックリストver.3」を活用し、全職員を対象にチェックリストを実施。	主任指導員	22名
3	1	メンタルヘルスケア研修 『労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施』 内容: ①職場のストレスチェック制度について説明②50人未満の職場「菰野千草園の取り組み③実施方法・URL「こころの耳」④結果の取り扱い説明(実施期間 R6.3.1～3.31)	主任指導員	22名
3	1	腰痛ケア研修 『腰痛防止体操の実施』 内容: ①腰痛借金とはなにか? ②3秒で出来る「これだけ体操」の実施③厚生労働省公式「いきいき体操」の実施	介助員	6名

外部施設研修

月	日	内 容	主催	参加人数
6	21	R5年度 課題別研修 「職場内研修の作り方～人と組織を育てるために～」 =講師 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科 教授 久田 則夫氏=	三重県 社会福祉協議会	1名
6	30	R5年度 近畿救護施設協議会 障がい者の地域生活移行支援研究会 「障がい者の地域生活移行支援について」 =講師 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 三田 優子氏=	近畿救護施設 協議会	2名
7	6.7	R5年度 近畿救護施設協議会 「セーフティネット機能を備え、地域に開かれた救護施設を目指す」	近畿救護施設 協議会	2名
7	11	R5年度 自主企画研修 「上手なほめ方・叱り方～部下のチカラを引き出すために～」 =講師 株式会社日本マネジメント協会 中部 服部 美記氏=	三重県 社会福祉協議会	1名
7	26.27	R5年度 キャリアパス対応生涯研修課程 「チームリーダーコース」	三重県 社会福祉協議会	1名
7	28	R5年度 近畿救護施設協議会 「第三者評価研修会～救護施設版第三者評価 良質適切なサービスを目指して～」 =講師 近畿救護施設協議会理事 松田 昌訓氏=	近畿救護施設 協議会	1名
8	3	R5年度 ボランティアコーディネーション研修① 〈入門編〉「ボランティア概論・ボランティアコーディネーション概論」 =講師 現代日本社会学部准教授 大井 智香子氏=	三重県 社会福祉協議会	1名
8	8	R5年度 三重県災害派遣福祉チーム(三重県DWAT)登録員訓練 「避難所の福祉ニーズ・図上訓練・DWATの活動の課題検討」	三重県 社会福祉協議会	1名
8	24	R5年度 給食施設管理者研修会 「給食施設における非常時の食事提供の現状と対策について」 =講師 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療栄養学科 准教授 大槻 誠氏=	三重県 桑名保健所	1名
8	25	R5年度 ボランティアコーディネーション研修② 〈入門編〉「ボランティア保険とリスクマネジメント2」 =講師 株式会社 福祉保健サービス 鈴木 伸一氏=	三重県 社会福祉協議会	1名
9	22	R5年度 課題別専門研修Ⅱ 「コーチング技法～部下や後輩のやる気を引き出すために～」 =講師 共創コーチング株式会社代表者 稲垣 友仁氏=	三重県 社会福祉協議会	2名
10	11	R5年度 自主企画 「伝える伝わる力向上研修」 =講師 鳥取大学大学院 医学系研究科臨床心理学 教授 竹田 伸也 氏=	三重県 社会福祉協議会	1名

救護施設 菰野百草園

事業報告書

月	日	内 容	主催	参加人数
10	2～30	R5年度 自主企画研修 「家族からのヘビークレーム対応策研修会」 ＝講師 株式会社安全な介護 代表取締役 山田 滋氏＝	三重県 社会福祉協議会	2名
10	27	R5年度 給食施設従事者研修会 「給食施設における健康づくり～野菜摂取向上と減塩～」 ＝講師 名古屋文芸大学 教授 後藤 千穂氏＝	三重県 桑名保健所	1名
11	10	R5年度 自主企画研修 「認知症がある利用者に心地よい介護技術～動きの支援・かかわり方～」 ＝講師：介護老人保健施設 ケアセンターゆうゆう 認知症フロア専属作業療法士 安藤 祐介氏＝	三重県 社会福祉協議会	1名
11	15	R5年度 近畿救護施設協議会 「個別支援計画研修会」 ＝講師 救護施設こうせいみなと 施設長 前嶋 弘氏＝	近畿救護施設 協議会	2名
11	25	R5年度 地域セミナー 「アルコール依存症を理解する・支える～飲酒とアルコール依存症の関連について～」 ＝講師 株式会社山口達也 代表取締役 山口 達也氏＝	救護施設 あそ上寿園	1名
1	6	R5年度 三重県こころの医療センター 「子どもの逆境体験と複雑性PTSD」 ＝講師 兵庫県ひょうごこころの医療センター院長 田中究氏＝	三重県 こころの医療 センター	1名
2	1～29	R5年度 自主企画研修【社会福祉施設職員等対象研修A-10】 「障害福祉施設における虐待・身体拘束防止研修」 ＝介護・福祉系弁護士法人おかげさま 代表弁護士 外岡 潤氏＝	三重県 社会福祉協議会	15名
2	6	R5年度 「松阪保健所・伊賀保健所 給食施設従事者オンライン研修会 ～業務継続計画(BCP)を踏まえた災害時の食事提供について」 ＝講師 お茶の水女子大学 基幹研修院自然科学 教授 須藤 紀子氏＝	三重県 桑名保健所	1名
2	6	R5年度 「令和5年度 退職手当共済制度実務研修会・IDECO説明会」 ＝講師 三井住友信託銀行＝	三重県 社会福祉事業 職員共済会	1名
2	26	R5年度 近畿救護施設協議会 「障がい者支援実践講座～救護施設への期待～」 ＝講師 社会福祉法人天心会小阪病院 病客部ソーシャルワーク課 寺田 耕氏＝	近畿救護施設 協議会	1名
3	21	令和5年度 自主企画研修【三重県介護従事者確保事業費補助金事業】 「福祉職員向けモチベーションアップ研修」 ＝講師 コミュニケーションオフィス3SunCreate 三田村 薫氏＝	三重県 社会福祉協議会	1名

救護施設 菰野千草園

